

第34回東京ビハーラ オンライン講演会のご案内

1. 開催日時 2024(令和6)年2月10日(土)
第一部 14時~15時半 ご講話 / 第二部 15時半~16時半 話し合い
2. 開催場所 オンライン
3. ご講師 中島 聡美氏(武蔵野大学人間科学部教授)
4. 講 題 『大切な人を喪ったあとに ー悲嘆とそのケアについてー』
5. 参加費 無 料

【講師経歴】

武蔵野大学人間科学部、人間社会研究科 教授。武蔵野大学認知行動療法研究所 所長。

精神科医、公認心理師、臨床心理士。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了後、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健部犯罪被害者等支援研究室長等を経て現職。



【講演の内容】

大切な人を喪った後の嘆き悲しみは悲嘆(グリーフ)と呼ばれる反応です。悲嘆は本来は自然な反応ですが、時に長引いて、社会生活等に支障をきたす場合があります。そのような悲嘆は遷延性悲嘆症とよばれます。この講義を通して、悲嘆反応および遷延性^性背^背悲嘆症の理解をふかめ、自分自身や周囲の人への^支援^援や^ケア^アについての理解を深めていただければと思います。

【著 書】

中島聡美：遷延性悲嘆症。三村将編集 講座精神疾患の臨床3 不安または恐怖関連症群強迫症 ストレス関連症群 パーソナリティ症。中山書店、pp261-174, 2021.

黒川 雅代子、石井 千賀子、中島 聡美、瀬藤 乃理子 著：あいまいな喪失と家族のレジリエンス：災害支援の新しいアプローチ。誠信書房、2019.

中島聡美：女性のトラウマとPTSD、複雑性悲嘆。本庄英雄先生監修 日本女性心身医学会編集。最新女性心身医学。ぱーそん書房、pp327-341, 2015.

中島聡美：プライマリ・ケアにおける「遺族ケア」。堀川直史編：ジェネラル診療シリーズ あらゆる診療科でよく出会う 精神疾患を見極め、対応する。羊土社、pp157-159, 2013.

【ご参加申し込み】

ご参加を希望される方は、①「お名前」「メールアドレス)」「②「ご参加の動機」をご記入いただき下記のメールにて事務局までご返信ください。

申し込み先 : 東京ビハーラ 担当事務局 太田うらら
メールアドレス urara.ota@gmail.com

参加締切 : 2024年2月8日(木)

問い合わせ先 : 東京ビハーラ 平日 14時~17時 TEL03-5565-3418
〒104-8435 東京都中央区築地 3-15-1 築地本願寺内